

唐丹文芸

「やぶひな」詠草

唐丹短歌会

梅雨を待ち焦がるるように花爆はぜて紫陽花の彩匂いろうが如し
梅雨時雨る金色堂にぬれかかり三十路義経月見坂逝く

四たびめの参りせんとや訪えば椿の花に埋みし墓處よ
舞う如く目線よぎりて降る椿華やぎ舞いて亡妹と遊べよ

腹太きみどり色したカマキリが草刈る手先を忙しく這う
ワンタッチの傘の色柄それぞれに診療終えて患者ら帰る

忌の家のあぢさゐ碧く澄みて咲き読経の声はひたすら胸に
宝釋草まぶしき黄色に咲きそろひ山路の株は白花なりき

白い帆も青い帆もありわが郷のホタテ作業の風物詩めく
満まんとコバルトブルーのダム湖なる謎めき見えて魚住まさりし

サイレンに艦砲射撃の胸騒ぎ 母と戦あつく壕の地獄が
文月に読書親しむ梅雨の夜 秒としとしく刻み染み入る

梅雨の夜の雲の間まよりいつときかの白き月をひさびさに見る
夕暮れの畑に草とる静けさをにわかに破るひぐらしの声

磯崎 彬

須具 美佐子

大津 秀子

環 あき

上野 ウタ子

中嶋 多喜子

高橋 昌子

大本山 永平寺参拝 参加者募集

■旅行期日 平成17年11月9日~12日 ■旅費 128,000円

コース

永平寺 — 舞鶴 — 天の橋立 — 城崎温泉
(往復 花巻空港より飛行機使用)

上閉伊地区曹洞宗寺院檀信徒参拝団

▶お申込みは、盛岩寺まで◀